



昨年11月13日、「ねんりんピックかながわ2022リハーサル大会」が開催され、ターゲット・バードゴルフが行われました<綾瀬スポーツ公園にて>



畑井 陽子

コロナ後の状況を捉え子育て支援策を充実させないか

●コロナ禍の子ども子育て支援について

Q 近年の核家族化や近所に頼る人が少ないことで、子育てをする人が孤立しやすい状況にある。市はこの状況にどのように対処しているか。

A 新生児訪問や健診などで子育ての悩みを聞き、気になる点があれば訪問や電話での見守りを行い、つながりの切れない支援を行っている。

Q 現在のコロナ禍では、収入状況が厳しい子育て世帯が多いと思うが、食料支援の必要性をどう考えているか。

A 子育て世帯での課題の1つと捉え、無償で食料などを提供するフードリンクあやせを実施している。今後も周知を行うとともに、食料支援の在り方を検証していく。

Q 困っている状況を社会に訴えることが難しい子どもを守るため、本市でも子どもの権利条例を制定しないか。

A 子どもと全ての人の関わる根幹的な権利のため、他の事例などを研究していく。

●学校現場におけるICT環境の整備とデジタルシテイズンシップ教育について

Q 子どもたち自らが主体的に行動する力の獲得を目指す、デジタルシテイズンシップ教育を取り入れないか。

A 「よき社会の担い手」を目指す教育が求められており、情報モラル教育の充実と併せ、取り入れていきたい。



日本共産党 上田 博之

国保税の値上げを回避し負担軽減する方法を提案する

●コロナ禍で生活苦が増大した国保世帯の負担軽減を

Q 国民健康保険は、いずれ多くの市民が加入する。一般会計から財源を繰り入れ、国保の財政調整基金を積み立てて、将来の増税抑制や税率引き下げに活用しないか。

A 一般財源から毎年数万円単位を賄うことになるため、理解が得にくいと考える。

Q 子どもの頭数にも税金をかける均等割は、子育て支援に逆行する。国は未就学児分を減額するが、市は18歳以下を対象者を拡大しないか。

A 関係法令の改正により、軽減が拡充される場合は、速やかに対応するが、市単独での拡充は考えていない。

Q 保険証を取り上げ、資格証を発行することは中止すべきである。147世帯から28世帯に激減したことは評価するが、運用を見直したのか。

A 国保税の軽減措置がされている世帯は、資格証を発行しないように見直した。

●美しい学校トイレの実現とジェンダーフリー対応

Q 悪臭がしにくい乾式の床や明るい壁、自動水栓付きの洗面所への改修や、みんなのトイレ増設の早期実施を。

A 施設などは必要な箇所から改修しており、校舎建て替えの検討時期を迎えている学校もあるため、長寿命化改修や建て替え時には明るくきれいなトイレを整備したい。



二見 昇

ヤングケアラー早期発見に向けた積極的な取り組みを

●ヤングケアラーの対応について

Q ヤングケアラーの認知度を向上させるとともに、相談窓口の周知を図る考えは。

A 国を参考にチラシなどを検討し、認知度を向上を図るとともに、広報やホームページなどで相談できる内容の具体例を示し、周知を図る。

Q 教職員の認識が不十分のため、研修を行うとのことだったが、取り組み状況は。

A 研修で事例を取り上げたほか、教育研究所からも情報発信を行い、認識を高めた。

とのことだったが、現状は。

A ヤングケアラーと思われる子どもの家庭環境への支援を行った事例がある。

●会計年度任用職員制度について

Q 令和3年の人事院勧告で、会計年度任用職員の育児休業改正などの意見が申し出されたが、取り組み状況は。

A 市職員労働組合との交渉や、関係する条例や規則の改正準備を進めている。

ブルーリボン運動を推進するための法的根拠は

創政会 笠間 昇

●ブルーリボン運動の推進について

Q 北朝鮮による拉致問題の解決を求める、ブルーリボン運動の推進に地方自治体を取り組むための法的根拠は。

A 平成18年に施行された法律に国や地方公共団体の責務などが定められている。

Q 北朝鮮人権週間には職員がブルーリボンを着用したが、令和4年度も着用しては。動向や背景を踏まえ、4年度に改めて検討したい。

Q 重度な障がいではないが、移動が困難な方が、負担が少なく投票所に行ける方法を研究する考えはあるか。

A 法律と照らし合わせ、移動手段の確保や地域性などを考慮しながら、先進事例を参考に調査研究したい。

●ゴミ減量の必要性とその取り組みについて

Q ごみの減量化では、今後、市民にさらなる協力をお願いすることになるが、なぜ減量化が必要なのか。

Q 職員負担を軽減し、作業効率を向上させるため、ごみ収集アプリを導入しては。

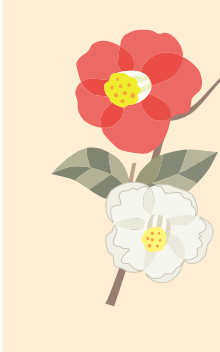
A 収集体制の変更を伴い、収集員などの条件整理も必要だが、導入を検討したい。



市の鳥「カワセミ」

議会の動き

●11月	19日 議会全員協議会・議会運営委員会	16日 12月定例会本会議(最終日)・議会全員協議会・議会報編集委員会
●12月	26日 12月定例会本会議(初日)・議会運営委員会・議会全員協議会	●1月
1日 市民福祉常任委員会	20日 議会全員協議会	28日 議会報編集委員会
2日 経済建設常任委員会	28日 議会報編集委員会	28日 議会報編集委員会
3日 総務教育常任委員会	28日 議会報編集委員会	28日 議会報編集委員会
7日 基地政策特別委員会	28日 議会報編集委員会	28日 議会報編集委員会
10日 12月定例会本会議(第2日)・議会全員協議会	28日 議会報編集委員会	28日 議会報編集委員会
13日 12月定例会本会議(第3日)・議会運営委員会	28日 議会報編集委員会	28日 議会報編集委員会
14日 12月定例会本会議(第4日)・総務教育常任委	28日 議会報編集委員会	28日 議会報編集委員会



「あやせ市議会だより」は、直接お届けしています

あやせ市議会だよりは、市シルバー人材センター(☎0467-70-3088)の会員が配布しています。

次号は、令和4年5月15日に発行予定です。